

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		英会話レッスン、学習、遊びのスペースを区切っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用人数に合わせて職員の数を調整し、必要な基準を満たした配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	教室内は構造化された空間になっているが、トイレがビルの共有部分にあり、バリアフリー化されていない。利用時には見守りを行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		サーキットなどの遊具を使用して活動ができるよう机やイスの配置替えを行い、体を動かせるスペースを確保している。また、サービス提供後は清掃を行い清潔な空間を保っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員全員が目標を持って取り組み、毎月の定例会議などで業務の報告や反省会を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者アンケートを行い、結果を把握し改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価については今後検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間計画に沿って、2か月に1回程度の社内研修を行っている。また、外部研修にも積極的に参加し職員間で共有している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントシートを作成し、支援計画書作成時や更新時には、保護者との面談で聞き取りを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		HUGシステムにて日々の様子を記録し、アセスメントの作成時は記録をもとに職員間で話し合う機会を持っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		職員間の会議や保護者からの聞き取りを行い、ガイドラインに沿った支援を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画内容を都度確認し、支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎月の定例MTGを実施し、個々で立案したプログラムもチームで共有、改善を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		様々なプログラム案を準備し、毎週違ったものを提供している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの特性や利用日を考え、適切な活動が行えるように支援している。 集団活動が難しい場合でも、個別の活動から徐々に参加できるよう段階を踏んで支援を行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝打合せを行い、休みの職員がいる場合でも情報共有ができるよう日報に記録している。 主になる職員が指示を出して、職員間で協力して動けるようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後に振り返りを行い、休みや送迎で職員が揃わない場合も情報共有ができるよう日報に記録している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の活動の記録は、当日中に記入し、保護者に向けて公開している。また、職員間でも情報の共有を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回モニタリングの会議を行う。また、日々の支援の中で、変化が見られたときは支援方法の見直しをしている。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて、保護者を通し関係機関と連携を取る。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	医療的ケア児の受け入れはしていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケア児の受け入れはしていない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育園や幼稚園と連携して、見学を行い、利用時のお迎えの際は日々の様子を情報交換している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の要望があれば小学校や相談支援事業所を通して情報共有を行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		言語聴覚士と連携を取り、定期的に助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	特に機会は設けていない。 放デイの児童とは同じ時間に通所しているので接する機会が多い。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		協議会、子ども部会等の研修へ定期的に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に、当日の様子をお伝えしたり、最近の様子を、保護者や保育園の先生とお話している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		面談のご希望があれば随時行っている。 支援内容や児童への声掛けの方法等は日々の活動記録に記載し保護者との連携を図っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入所時、契約内容の変更時に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		面談の場を設け、保護者の意見や要望も取り入れ、計画を作成し実践している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談のご希望があれば随時行い、年に2回保護者会を開催している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年に2回程度の保護者会に加え、奇数月にはオープンスクールを開催し、家族参加型のイベントも企画している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れはその都度しっかりと聞き取りを行い、対応している。また、職員全員に周知し、話し合い、適切な対応に努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HUGシステムを利用して行事予定やお知らせを掲載している。Instagramの活動掲載は今後更新頻度を増やしていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		鍵付きの書庫で保管、廃棄のものはシュレッダーを使用するなどし、丁寧に扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		特性に応じて、お互いにコミュニケーションがとれるよう配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	立地的に難しい。機会があればイベントなどで取り入れる。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		会議や研修等で職員間で読み合わせを行っている。マニュアルは保護者にも見える位置に配置している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		職員間では月に1回の避難訓練を行う。また、年に2回は避難訓練週間を作り、児童全員と実際の避難経路の確認を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入所時にアセスメントシートに記入していただく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		入所時にアレルギーや服薬の聞き取りをしている。アレルギー表を掲示し、おやつを提供時にはダブルチェックを行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットに関して定期的なミーティングを行い、職員間で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し、事業所内で虐待防止研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在身体拘束は行っていない。必要があれば本人や保護者と相談し行う。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。